

住宅・建築物の耐震化促進に向けた施策体系

基本的方向	施策	施策内容
1. 住宅・建築物の地震防災対策に関する啓発、知識の普及	①地震防災マップの更新・公表	地震に関するマップの活用により、まちづくりや公共施設の配置計画の検討、地域における地震予防対策の検討をより適切、詳細に行うことが可能となることから、地震防災マップの作成・公表を行うこととします。
	②パンフレットやインターネットを活用した普及啓発	本計画のパンフレット（＝概要版）を作成し、耐震化の必要性、耐震診断、改修（相談、診断、補助制度の活用等）をする場合の問い合わせ先、揺れやすさマップを盛り込み、住民へ配布します。
	③リフォームに併せた耐震改修の誘導策	リフォーム工事に合わせた耐震改修を誘導するよう、愛別町では、相談窓口を設置しており、将来的に民間事業者等と連携した相談体制の仕組みづくりを検討します。
	④地域における取組の推進	愛別町地域防災計画の内容に沿った取り組みを推進することとします。
2. 耐震診断・改修の促進を図るための支援や環境整備	① 住宅の耐震化の促進	今後、国・道の補助制度を活用した施策の拡充について検討します。
	② 多数利用建築物の耐震化の促進	町の多数利用建築物の耐震化率は、2018 年度時点で 83.3%となっています。耐震化目標 95%の達成を目指します。
	③地震時に利用を確保することが公益上必要な建築物の耐震化の促進	大規模な地震が発生した場合において、災害応急対策の拠点となる施設や避難所となる施設など、その利用を確保することが公益上必要な建築物（防災拠点建築物）のうち、昭和 56 年以前の耐震基準（旧耐震基準）により建築され、地震に対する安全性が明らかでないものは、耐震診断を行うとともに、耐震改修の促進を図る必要があります。愛別町においては、愛別小学校、愛別中学校が該当しますが、耐震性は確保されています。
	④地震時に通行を確保すべき道路の沿道建築物の耐震化の促進	道では、緊急輸送道路は、地震によって沿道の建築物が倒壊した場合において、緊急車両の通行や住民の避難を確保する必要があることから、耐震改修促進法第 5 条第 3 項第 3 号に規定する道路に指定することとします。
	⑤耐震診断・改修に係る相談体制の充実	相談窓口を設置し、上川総合振興局建築指導課、(財)北海道建築指導センターと連携し、専門家による対応を行うものとします。
	⑥その他の地震時の安全対策の推進	「窓ガラス等の落下の防止対策」「大規模空間の天井の脱落防止対策」「エレベーター内の閉じ込め防止対策」「ブロック塀等の倒壊防止対策」を総合的に推進します。
3. 耐震診断・改修を担う人材の技術向上	① 耐震診断・改修技術講習会の開催	所有者の相談ニーズに応じる為、道や建築関係団体と連携し、建築構造別耐震診断法や性能向上、制度面での知識向上を図る講習会を開催します。
	②耐震改修工法や地震防災対策の研究・技術開発の推進	北海道立総合研究機構北方建築総合研究所との連携等により耐震診断や耐震改修工法等に係る民間への普及を図ります。
	③住宅所有者から耐震診断・改修を行う改修事業者等への接触が容易となる取組の推進	町内の耐震改修事業者リストを作成・公表し、住宅所有者が耐震改修を容易に進められる環境整備を図ります。

住宅の耐震化に関するお問い合わせは

愛別町役場 建設課

〒078-1492 上川郡愛別町字本町 1 7 9 番地

TEL 01658-6-5111

FAX 01658-6-5110

愛別町耐震改修促進計画【概要版】2018

あなたの住んでいる『地域』やあなたの住んでいる『住宅』は大丈夫ですか？

地震による被害を減らし、安心・安全な まちづくりに向けて

愛別町では住宅・建築物の耐震化の目標を定め、耐震化の促進に取り組みます。

地震への
そなえは
できていますか？

国の新たな基本方針をはじめ、北海道（以降「道」という。）の耐震改修促進計画では、住宅及び多数利用建築物の耐震化率を 2020 年度までにそれぞれ 95%とすることを目標としています。

愛別町においても、国・道と同様に 2020 年度における住宅の耐震化目標を 95%と定め、より一層の耐震化の促進に取り組みます。

住宅 🏠	2018 現況	2020 耐震化目標
	51%	95%
多数利用 建築物 🏢	2018 現況	2020 耐震化目標
	83%	95%

愛別町における住宅等の耐震化目標は『95%』

あなたの地域の“ゆれやすさ”は？

あなたのお住まいの地域の『震度』を確認しましょう。

愛別町で大きい被害が想定される地震と震度

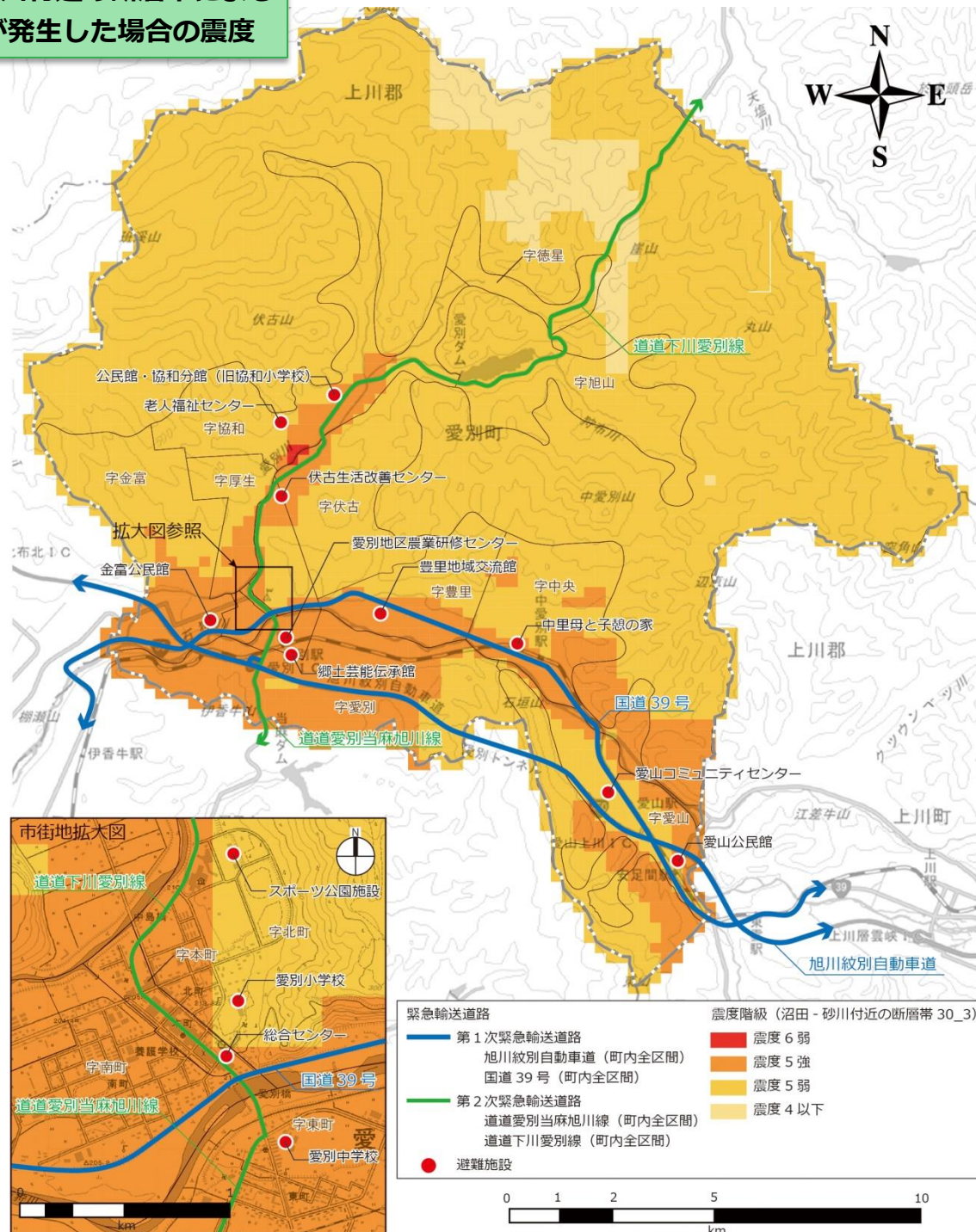
地震が発生した際の住宅被害は、地域の「震度」と住宅の「耐震性能」によって異なります。

あらかじめ、あなたの住んでいる地域で想定される地震や地震が発生した時の“ゆれやすさ”を知っておくことが大切です。

ここで紹介する『ゆれやすさマップ』で、あなたが住んでいる地域の“ゆれやすさ”を把握しましょう。

愛別町における想定地震と「ゆれやすさマップ」・地震時に通行を確保すべき道路

沼田-砂川付近の断層帯による地震が発生した場合の震度



■ 愛別町で想定される地震

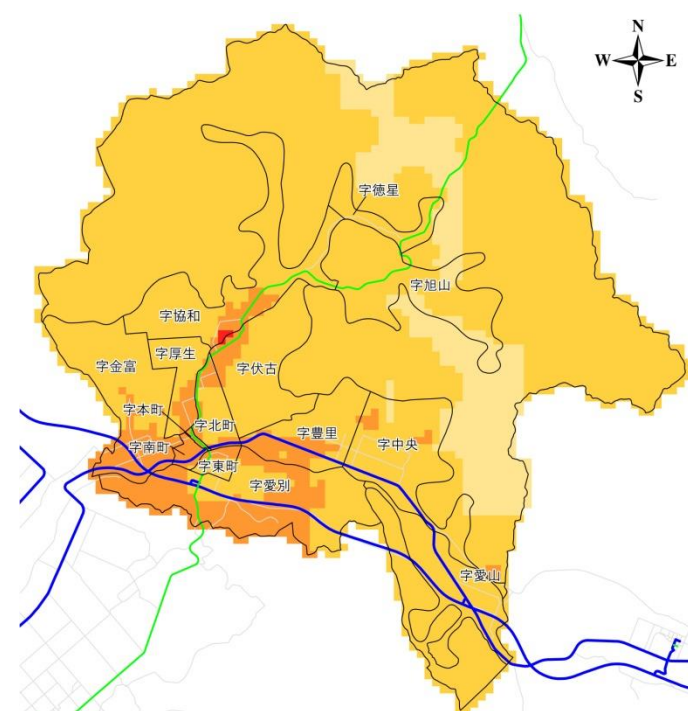
愛別町に大きな影響を及ぼすと想定される地震は以下のとおりです。

想定地震	最大震度 (震度階級)	平均震度 (震度階級)
沼田-砂川付近の断層帯	5.7 (6弱)	4.7 (5弱)
増毛山地東縁断層帯	5.6 (6弱)	4.7 (5弱)
直下型	5.7 (6弱)	5.6 (6弱)

■ 震度階級により想定される状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況
震度6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
震度5強	大半の人が、物につかまらないうちと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	食器類や書棚の本で、落ちるものがある。固定していない家具が倒れたりする。
震度5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、食器類、書棚の本が落ちることがある。固定していない家具が移動し、不安定なものは倒れたりする。

増毛山地東縁断層帯による地震が発生した場合の震度



直下型による地震が発生した場合の震度

